



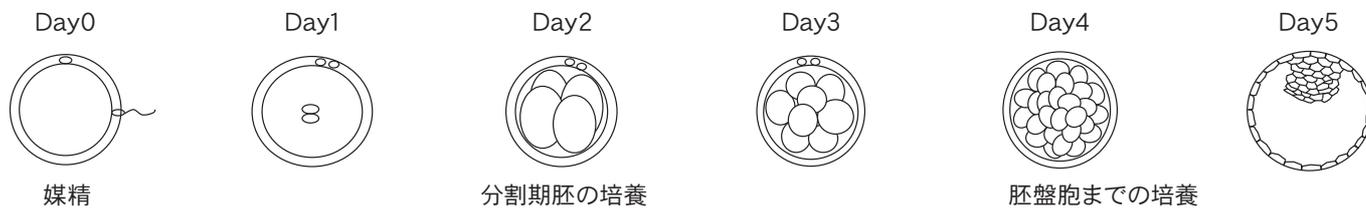
# P+ Sequential Medium



- 5~6% CO<sub>2</sub>気相下でご使用ください。
- NPS(代替血清)が添加してありますのでそのままご使用ください。
- ロット毎にpH、浸透圧、エンドトキシン濃度のチェック、無菌試験、マウスエンブリオアッセイを行っております。
- 使用期限(製造後90日)はバイアルラベルの下部に表示してあります。  
例 : Exp.2015.07.10 = 使用期限2015年7月10日

カタログ番号	品名	用途	内容	使用期限/保存条件
PF020	P+ファティリゼーションメディウム	媒精 (Day0~1) 卵子洗滌	20ml	製造後90日/ 要冷蔵 (2~8℃)
PC020	P+クリベージメディウム	分割期胚の培養 (Day1~3) 初期胚移植	20ml	
PB020	P+ブラストシストメディウム	胚盤胞までの培養 (Day3~5) 胚盤胞移植	20ml	

# P+ Sequential Medium



P+ファティリゼーション  
メEDIUM

P+クリベージ  
メEDIUM

P+プラストシスト  
メEDIUM

## 使用例

P+ファティリゼーションメEDIUM (PF020)は受精に使用し、受精確認後、前核期から8細胞の初期分割期胚 (Day2またはDay3)までの培養にはP+クリベージメEDIUM (PC020)を使用します。さらに胚盤胞までの培養を継続するにはP+プラストシストメEDIUM (PB020)に順次、メEDIUMを交換します。

## 特長

P+ファティリゼーションメEDIUM (PF020) 及び P+クリベージメEDIUM (PC020)にはエネルギー代謝、浸透圧の維持調整及び胚の発育促進のため、従来のHTFメEDIUMにタウリン及び5種の非必須アミノ酸 (アスパラギン、アスパラギン酸、グリシン、プロリン、セリン)等を加えてあります。P+プラストシストメEDIUM (PB020)にはさらに種々の必須アミノ酸、ビタミン類、インシュリン等が含まれています。

## 至適pH

胚培養にはpHの管理が非常に重要です。ご使用前に5~6% CO<sub>2</sub>の培養環境下で平衡化してください。平衡化の後、メEDIUMのpHを測定し下記の至適pH範囲であることが望まれます。

カタログ番号	培養液	至適pH
PF020	P+ファティリゼーションメEDIUM	7.20~7.40
PC020	P+クリベージメEDIUM	7.10~7.30
PB020	P+プラストシストメEDIUM	7.20~7.40

## 注意点

P+プラストシストメEDIUM (PB020)はアミノ酸が多く含まれているためアミノ酸代謝物 (アンモニア様物質)の影響が考えられます。1~2日で培養液を交換してください。

使用期限は製造後90日 (ラベルに記載)です。ただし、開封後は無菌的に冷蔵保存し (2~8℃)、なるべく早めにご使用ください (2週間以内が望ましい)、バイアルから必要量を採取する時はCO<sub>2</sub>ガスの漏出を防ぐために速やかに密封してください。

※本製品は薬事法の定めるところの医療機器、体外診断薬ではありません。ヒトまたは動物の治療に用いるものではありません。※記載の仕様等は、予告なく変更される場合があります。写真と実際の製品とは若干異なる場合があります。

販売代理店

販売元



株式会社ナカメディカル

〒190-0012 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館  
Tel.(042)529-9313 Fax.(042)529-9517

<http://www.nakamedical.co.jp>

製造元 ● 株式会社細胞科学研究所